別紙1　参考様式

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
有田市	西部地区（旧初島町、旧箕島町、旧保田村）	令和4年3月31日	令和5年3月10日

1　対象地区の現状

①地区内の耕地面積	781．9ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	464．4ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	112．6ha
うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	48．8ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	10．4ha

2　対象地区の課題

各集落とも今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積が、後継者未定の農業者の耕作面積を大幅に下回っており、新たな農地の受け手の確保が急務である。

3　対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

初島集落では、新規就農者の育成を図り、新たな担い手を確保しつつ、農地を集約していく。

箕島集落では、農業経営の安定を図り、担い手の維持・増加につなげ、農地を集約していく。

保田集落では法人を中心に集約を進めていく。

注：「中心経営体」には、認定農業者、認定新規就農者、経営所得安定対策の対象となる法人化や農地の利用集積を行うことが確実と市町村が判断する集落営農及び市町村の基本構想に示す目標とする所得水準を達成している経営体等が位置付けられます。

（参考）　中心経営体

属性	農業者（氏名・名称）	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
認農	A	果樹	1.65 ha	果樹	2 ha	旧初島町
認農法	B社	果樹	7.37 ha	果樹	10 ha	旧保田村
認就	C	野菜	0.68 ha	野菜	1 ha	旧箕島町
認就	D	果樹	1.04 ha	果樹	2 ha	旧箕島町
認就	E	果樹	0.98 ha	果樹	2 ha	旧保田村
認農	F	果樹	3.36 ha	果樹	5 ha	旧保田村
認農	G	果樹	2.73 ha	果樹	4 ha	旧保田村
認農	H	果樹	2.56 ha	果樹	3 ha	旧保田村
認農	I	果樹	2.4 ha	果樹	3 ha	旧初島町
認農	J	果樹	2.79 ha	果樹	4 ha	旧箕島町
認農	K	果樹	2.86 ha	果樹	4 ha	旧保田村
計	11人		28.42 ha		40 ha	

※属性について、個人は認農、法人は認農法、認定新規就農者は認就と記載

4　3の方針を実現するために必要な取組に関する方針（任意記載事項）

新規就農者獲得の方針
　国庫事業の「新規就農者育成総合対策」や、有田市独自の就農支援スキーム「アグリリンク」を活用し、担い手となる新規就農者を獲得する。

新規作物導入の方針
　箕島集落の宮崎地区では、米等の土地利用型作物以外に、収益性の高い野菜生産に取り組む。

鳥獣被害防止対策の方針
　被害の多い保田地区では特に、イノシシ防護柵の設置や、山間部での有害駆除等、地域全体で取り組んでいくことで、優良農地を維持し、中間管理事業等を通じて集約していく。